

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2014. 11
No.255

TPMの考え方

9月に「イナテック平湖」に出張した時に、イナテックTPMの考え方について全中国社員の方に説明をさせていただきました。

イナテック平湖も設備台数は80台を超え、社員の方々も100名を超す規模になりました。もうじきコンパクトなTPMを導入する時が来ていると考えているためこのように説明するはこびとなったのです。

平湖では、「TPMは、最終的には社員の質的な幸せ、社員の家族の幸福のために会社に導入するのです」と説明させていただきました。

TPMの目的は

設備に強い人

製品に強い人

になってください。

というコメントをしました。

そして、設備に対しては

「みなさんの子供を育てるように・・・」とお願いを致しました。

『子供を育てる』という表現をイナテック平湖の皆さんはご理解いただいたようです。

そこで思い出したのは、帝京大学ラグビー部監督 岩出雅之氏の学ばれた「教育四訓」です。

「乳児は肌を離すな。

幼児は肌を離して手を離すな

少年は手を離して目を離すな

青年は目を離して心を離すな」

これをTPMでいう“設備を、子供を育てる”に当てはめると大変良く解りますし、このように設備に手をかければよりよい製品が必ず産み出されると私は信じております。

また、管理、監督者の方々が社員の方を育

てる基本的な考え方としても大変役に立つと思いますので、どこかに書きとめておいて下さい。

“観る”“見る”です。

自己完結型社員

“自己完結型社員”になってください。

たとえば、上司から頼まれた事をたらいまわしにする。

「あ、それは〇〇さんに言っておきました。」

「それは〇〇さんにやってもりました。」

こんなことが最近見受けられました。

もちろん、簡単な事であっても自分で出来ないこともあるでしょう。他の人をお願いすることもあるでしょう。しかし、最後まで責任を持つてフォローしてください。自己完結社員になってくださいとは、こういうことなのです。

欲をいうと、できないことを他の人に頼むのではなく、「できる人に教えてもらって」、次回からは自分で出来るようになってください。つまり、頼まれたことは最後まで責任をもつことが大切なのです。

イナテック企業理念で言っております、『仕事で後始末ができる』ということなのです。

電話応対も気になります。「誰々さんからTELがありました」と電話の用件も聞かず、相手のTEL番号も聞かないメモが多いのです。

仕事の効率を上げるためにも、必ず“用件を確認し、“相手のTEL番号を聞いておく”ことは最低限のビジネスマナーです。

そしてさいごに「私、〇〇が責任を持って〇〇へ伝えます」の一言が必要なのです。

電話応対でその会社の質がわかります。気持ちのよい応対がイナテックを変えます。

『自分の仕事を通して、心を磨いていく』

自分の役割に最善を尽くすことでもって、自分の周りの人を癒したり導いてあげる人を千人、万人つくる。そういう人が集まれば日本は平和になる。

与えられているものに感謝しつつ、それぞれの仕事、それぞれの立場において、いま一瞬を生き切る。全力を尽くすことこれが間違いない悟りに近づいていく道であり、伝教大師の求めた一隅を照らすことにつながるのです。

宮本祖豊氏

比叡山延暦寺住職

一八

競逐^{きょうしやく}聽人、而不嫌^{あきら}盡^{ことごと}醉。恬淡^{てんたん}適己、而不^{あきら}誇^こ獨醒。此釋氏所謂、不爲法纏、不爲空纏、身心兩自在者。

競逐^{きょうしやく}は人に聴^かせて、而も^{しか}尽く^{ことごと}酔^よいを嫌^{きら}わす。恬淡^{てんたん}は己に^{おの}適^たして、而も^{おの}独り^{ひと}醒^さむるを誇^こらず。此^これ^こ積^つ氏の所謂^{しゆい}、法の^ほ為に^{ため}纏^たせられず、空の^{くう}為に^{ため}纏^たせられず、身心^{しんしん}兩^{りゆう}つながら自在^{じざい}なる者なり。

* 内閣文庫本は此の条を前文に続けて一条としているが、底本は文意により別条とする。

一 競逐——名利を競い追う。二 独り醒む——衆人が皆酔うているのに、自分独り覚めている。屈原に「世を挙りて皆濁り、我独り清めり。衆人皆酔い、我独り醒めたり」(漁夫辞)とある。

名利を追い競うことは世人のなすがままに任せて、(自分は関係しないが)、しかしまた、世人が皆名利を求めことに夢中になっているのを、ひどく嫌うというのでもない。また、名利を忘れ万事にあっさりとしてわが意に^{おの}適^たうようにするが、しかしまた、(世人が皆夢中になる中で)、自分独りが^{おの}冷^{ひや}静であることを誇るといってもない。このようなこそ、仏家でよく言われる、一切の諸法に束縛されず、また、一切空というにも束縛されず、身心ともに自由自在な達人である。

これを読んで私は“仕事”とは「テクニカルなこと」、「マネジメントのこと」のように思う人が多いように思います。ですが、宮本住職の言われるように私たちにとって会社にいる8時間が、24時間が修行なのです。それが“仕事”なのです。

気が付いているにも関わらず、切れた蛍光灯が一月も放置されています。しかも事務所(天井の低い)の蛍光灯です。

“トヨタの口ぐせ”で出てくる『改善は巧遅より拙速』を思い出します。

さあ、グズグズ言わず自分たちですぐやろう!